

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

津山市地域雇用創造計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

津山市

3. 地域再生計画の区域

津山市の全域

4. 地域再生計画の目標

津山市（以下「本市」という。）は、岡山県の北東部に位置し、北は鳥取県、南は吉備高原に接し、古来から岡山県北地域の中心都市として栄え、岡山市、倉敷市に次ぐ岡山県第3の都市である。

1929年（昭和4年）の市制施行後は、市域を拡大しつつ、着実に発展してきたが、昭和30年代の高度成長期に入り、人口の流出がつづき、過疎化が進行した。昭和50年（1975年）に開通した中国縦貫自動車道は、本市に大きな影響をもたらし、工業団地への企業立地、商業の活性化などにより、定住志向が高まり、再び人口が増加を続けてきた。

2005年（平成17年）2月には、近隣の加茂町、阿波村、勝北町及び久米町を合併し、人口111,499人（平成12年国勢調査）、面積は506.36㎢を擁する岡山県北最大の中心都市となった。

本市の人口は、1975年（昭和50年）の中国縦貫自動車道の開通以降は、増加傾向にあったが、1995年（平成7年）の国勢調査の113,617人をピークに、その後は緩やかな減少傾向に転じている。2005年（平成17年）の国勢調査では110,569人、2010年（平成22年）は106,788人となり、5年間で3,781人（3.4%）の減少となっている。

本市の人口を年齢の区分別にみると、2010年（平成22年）の年少人口（0-14歳）は15,146人で、2005年（平成17年）と比べると1,472人、2000年（平成12年）と比べると2,567人減少し、総人口に占める割合は14.2%となり、この10年間で1.7ポイント減少した。また、生

産年齢人口（15－64歳）も63,561人となり、平成17年、12年と比較すると、それぞれ4,487人、6,397人減少し、その占める割合も59.5%となり、3.2ポイント減少した。一方、老年人口（65歳以上）は27,184人となり、平成17、12年と比較すると、それぞれ1,284人、3,362人増加し、占める割合も25.5%とそれぞれ2.1ポイント、4.1ポイント上昇した。高齢化率25.5%という数値は、平成22年の全国平均23.0%、岡山県25.1%と比べても高い値を示している。

以上から、本市においても人口減少と少子高齢化が同時に進行していることが分かり、その影響として、地元企業の後継者不足、労働力の量的及び質的低下などの一層の進展と、地域産業の弱体化が予想される。

これまで、本市は、県北の中心都市としての社会基盤を形成し、発展を遂げてきたが、人口減少、少子高齢化等の社会構造の変化や経済のグローバル化、大手企業のリストラクチャリング等の経済構造の変化に伴い、就業人口や事業者数が減少し、地域の経済情勢や雇用情勢に大きく影響を及ぼしている。本地域を所管するハローワーク津山所管内の平成23年12月有効求人倍率（パート、アルバイトを含む）は0.84倍となっており、リーマンショック前の水準に回復したが、岡山県の1.00倍を下回っている。また、求人については、第3次産業のパート、アルバイト等の非正規雇用が中心であり、正規雇用を希望する求職者とのミスマッチが多く、そのことが、若年労働者の市外流出を招く要因となっている。

本市としては、これまで長い年月を掛けて培ってきた歴史・文化・自然・産業技術・人などの地域資源を活用してより一層の産業振興を図ることが課題であると認識しており、本計画を通して、地元企業や求職者の能力向上を促進することにより、地域資源を掘り起し、活用又は創造することで、民間投資と雇用機会の創出を図る。

（計画の目標値）

市内事業所での雇用者増

① 平成24年度	41人（常勤22人、常勤以外17人、創業者 2人）
② 平成25年度	99人（常勤64人、常勤以外31人、創業者 4人）
③ 平成26年度	99人（常勤65人、常勤以外30人、創業者 4人）
合 計	239人（常勤151人、常勤以外78人、創業者10人）

5. 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

今回の計画は、地域が一丸となって、本市が有する地域資源や人材を有効に活かしながら、地域産業の活性化と雇用の創出を図り、地域の再生を目指すものである。

具体的には、地域重点分野において実践型地域雇用創造事業を活用し、受け皿となる地元企業や産業経済団体の組織力を高める「雇用拡大」と、地域の厳しい雇用情勢を解消するため、専門知識や技術等の習得による「人材育成」を融合しながら、企業と求職者のマッチングの推進により雇用機会の拡大を行う。

また、本市に存在する歴史・文化・自然・技術・人などの地域資源を掘り起し、産業資源や観光資源として活用又は創造する事業を実施することで、民間投資と雇用機会を創出する。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

「該当なし」

5-3 その他の事業

5-3-1 実践型地域雇用創造事業【B0906】

本市では、市内の産業経済団体と行政で組織する「津山市地域雇用創造協議会」が、地域重点分野（①企業振興分野②ものづくり分野③商業・サービス分野④観光分野）の振興を図ることを目的として、地域企業及び地域求職者の人材育成と就業促進の事業を実施し、さらに、地域資源を活用した商品開発や販路拡大等に取り組むことで、地域経済の活性化と雇用創出を図る。具体的な事業は以下のとおり。

I 雇用拡大メニュー

1) 企業リーダー育成事業

イ 事業内容：企業の経営者や管理人材を対象に、雇用拡大や雇用継続を図るうえで必要とされる、部下の能力やモチベーションを高めるための「人材活用力」を、ロールプレイ演習等により育成を図る。

○企業人材活用力育成セミナー・・・対象：建設業、製造業、運輸業、卸売業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業等

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

2) 企業力強化事業

イ 事業内容：

① 市内で生産されている農産物を活用した加工商品の開発に必要な能力育

成を深める研修を総合的に行い、農商工連携や6次産業化の推進を図る。

○農産品加工技術習得セミナー・・・対象：農業、食料品製造加工業、卸売業、小売業等

②市内で生産されている農産物を活用して、ストーリー性や機能性のあるご当地グルメや名物料理の開発に必要な能力育成を深める研修を総合的に行い、農商工連携や6次産業化の推進を図る。

○調理技術等習得セミナー・・・対象：農業、食料品販売業、宿泊業、飲食業等

③経営管理、財務管理の強化、マーケティング、IT等の活用による経営戦略を創るスキルアップのための研修を総合的に行い、企業経営の強化を図る。

○経営力強化セミナー・・・対象：建設業、製造業、運輸業、卸売業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業等

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

3) 地域商店街活性化事業

イ 事業内容：商店街の個店自慢の逸品の開発に必要な能力の育成を深める手法や商品知識、売り込み方法を習得することにより、商店街全体の活性化を図る。

○一店逸品化推進セミナー・・・対象：小売業、飲食業、サービス業等

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

4) 観光産業活性化事業

イ 事業内容：

①宿泊、観光施設、土産物販売、飲食、交通等の観光事業におけるホスピタリティの向上やITを活用したマーケットビジネス等の経営知識を習得することにより、誘客の促進を図る。

○観光事業者経営指導セミナー・・・対象：ホテル・旅館業、旅行業、遊技業、飲食業、旅客運送業、観光関連サービス業、特産品等加工販売業等

②実践メニューのフィードバックとして、実践支援員が講師となり着地型観光の商品開発に関するノウハウを市域の観光事業者に提供することにより、着地型観光のエリア拡大やコンテンツの充実を図る。

○着地型観光開発促進セミナー・・・対象：ホテル・旅館業、旅行業、

遊技業、飲食業、旅客運送業、観光関連サービス業、特産品等加工販売業等

ロ 事業実施期間：観光事業者経営指導セミナー

平成24年度～平成25年度

着地型観光開発促進セミナー 平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

II 人材育成メニュー

1) 企業立地人材確保事業

イ 事業内容：就労に必要な基礎的な知識や能力の習得を目的とした研修を実施し、企業ニーズに合致した人材を育成することで雇用創出を図る。

○即戦力人材育成セミナー・・・内容：品質管理、在庫管理、会計経理、IT、接遇等の基礎知識や技能などの習得を目的とした研修

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

2) 産業ビジネス人材育成事業

イ 事業内容：企業の技術革新や業務拡大、新分野への参入等を促すため、専門的な知識や能力を有する人材を育成することで、地域経済の活性化や雇用創出を図る。

○産業技術能力養成セミナー・・・内容：CAD システム等の高度な設計能力の習得や新製品、新技術等の開発に必要な専門知識や技能の習得を目的とした研修

○6次産業化導入育成セミナー・・・内容：即戦力人材セミナー、起業能力開発セミナーでノウハウを取得した者を対象に農場、加工場、展示会等を通じて農業体験、ものづくり体験、販売体験等6次産業化の導入に向けた職業経験を積むことで、専門的な知識や技能の習得を目的とした研修

○企画力・営業力養成セミナー・・・内容：組織のリーダーシップ、企画立案力、マーケティング、プレゼンテーション等のスキルの向上を目的とした研修

ロ 事業実施期間：産業技術能力養成セミナー

6次産業化導入育成セミナー

平成24年度～平成26年度

企画力・営業力養成セミナー

平成24年度～平成25年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

3) 新規創業開拓事業

イ 事業内容：創業に必要な基礎的な知識や能力を有する人材を育成することで、新たな地域経済の担い手として新規創業者の創出を図る。

○起業能力開発セミナー・・・内容：法人設立、事業計画、財務諸表の作成、マーケティング、資金調達等のノウハウや起業に必要な知識や能力の習得を目的とした研修

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

4) 観光人材育成事業

イ 事業内容：地域の特性を活かした観光資源にリンクし、観光客の満足度を高めるためのおもてなしと地域の魅力をPRできる能力を有する人材を育成することで、観光リピーターの増加による消費拡大と雇用機会の拡大を図る。

○おもてなし能力開発セミナー・・・内容：宿泊、観光施設、土産物販売、飲食、交通等の観光事業におけるホスピタリティの向上に必要な接客、コミュニケーション等の能力の習得や地域の著名な観光地、歴史文化、地理、人物等の知識の習得を目的とした研修

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

Ⅲ 就職促進メニュー

1) HP開設による地域雇用情報の発信

イ 事業内容：地元企業と求職者に対して協議会が実施する各種事業の告知や周知のほか、市内外の求職者向けに情報を発信するための協議会のHPを開設し、広く情報発信を行う。

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

2) 合同就職面接会の開催

イ 事業内容：地元企業と求職者を対象にした就職面接会を開催し、企業と求職者のマッチングを支援することにより、就業を促進する。

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度 年2回実施

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

3) Uターン・Iターンフェアの開催

イ 事業内容：関西近郊のUターン・Iターン希望者をターゲットに、Uターン・Iターンフェアを開催し、求職者の就業機会のマッチングを支援する。

ロ 事業実施期間：平成24年度～平成26年度 年1回実施（大阪1回）

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

IV 雇用創出実践メニュー

イ 事業内容：旅行業等に精通したアドバイザーが事業を監理することにより、地元企業や求職者の能力向上を促進し、本市に存在する歴史・文化・自然・産業技術・人などの地域資源の活用又は創造する事業を実施することで、民間投資と雇用機会を創出する。また、委託事業終了後も雇用創造効果を波及的に広げ、地域産業のイノベーションを促進するとともに、雇用を拡大し、定住人口や交流人口の増加を図る。具体的には以下のとおり。

【着地型観光商品開発事業】

① 観光事業者等のワークショップによる観光資源に関する基礎調査、先進地調査及びマーケティング調査

② 着地型観光開発及びモニターツアー実施

③ 観光案内所出展による観光商品等の市場調査及び販路拡大等に関する調査研究

④ 観光用プロモーションビデオ、パンフレット、雑誌掲載、スマートフォンアプリによる観光案内サイトの作成等による観光情報発信に関する調査研究

⑤ 観光者向け土産物開発及び試作品等のニーズ調査

【つやま逸品EXPO事業】

① 市域の特産品・工業製品等に関する基礎調査及びマーケティング調査

② 特産品・工業製品等のブラッシュアップ及び販路拡大に関する調査研究

③ 特産品・工業製品等を一堂に集めた商談会（つやま逸品EXPO）の開催による情報発信及びバイヤーを対象にした販路開拓

ロ 事業実施期間及び実施スケジュール

着地型観光商品開発事業 平成24年度～平成26年度

つやま逸品EXPO事業 平成26年度

ハ 事業実施主体：津山市地域雇用創造協議会

5-3-2 市独自の取組

① 企業誘致の推進

a 内容

市内に工場、物流施設又は研究所の建設（増設を含む）を行う立地企業に対し、設備投資や雇用に係る奨励金を交付することにより、企業誘致の推進を図る。

b 実施主体 津山市

c 事業規模 平成23年度予算額 90,382千円

d 成果

(a) これまでの実績

平成23年度奨励金交付対象立地企業数（増設を含む） 4社

平成23年度奨励金交付対象新規雇用者数（常用雇用者のみ） 60人

(b) 今後の見込み

平成23年度から、大規模工場や新エネルギー関連分野等今後成長が見込まれる分野の製造工場のほか、震災等により生産拠点をシフトする工場等を対象に、奨励金の優遇制度を強化した。雇用面においても人材育成や人材確保策を強化することにより、さらなる企業立地や雇用創出を進めていく。

② 内発型の産業振興の推進

a 内容

地元の製造業者、流通業者、農業者、大学、高専、商工団体、行政機関及び専門的な知見を有するアドバイザーで構成される産官学の連携組織「つやま新産業創出機構」に対し、市が事務局となり人的支援及び金銭的支援を行い、「選択と集中」の基本コンセプトの下で、ステンレス加工業をリーディング産業として育成をし、また、農商工連携等により地元特産品を開発し、「つやま夢みのり」ブランドとして販売促進を行っている。

b 実施主体 つやま新産業創出機構

c 事業規模 平成23年度予算額 20,663千円

d 成果

(a) これまでの実績

平成23年度「つやま新産業創出機構」ステンレス加工品出荷額

2,594,380千円

平成22年度「つやま夢みのり」関連商品販売額 215,871千円

(b) 今後の見込み

「つやま新産業創出機構」は、ステンレス加工の技術補完による共同受注体制や新技術の導入等を行う「津山ステンレスクラスター」を組織し、現在23社が加盟しており、その製造出荷額や雇用者数は着実に伸びている。今後は、部品製造の下請け受注から脱却を図るため、独自プラントの開発等を通じて、同クラスターを日本有数のステンレス加工基地として発展させ、事業拡大や雇用創出を図る。また、同機構は、「つやま夢みのり」ブランドの認定商品の開発や農商工連携等により特産品開発や販売促進を行う「津山食料産業クラスター」を組織し、農業者、食品製造業者、流通業者等42事業者が加盟しており、その商品数や商品販売額は着実に伸びている。今後は、「つやま夢みのり」ブランドの認知度を上げることや競争力のある商品開発を行うことで、事業拡大や雇用創出に繋げる。

③ 地元製造業の振興

a 内容

津山圏域内で工業製品等の製造をしている地元企業や立地企業がお互いに連携と交流を密にし、情報交換や技術力向上の研鑽等を行うことにより、工業団体の組織化や強化を図るとともに、地域工業全体の底上げや発展を図る。

b 実施主体 津山圏域工業会

c 事業規模 平成23年度予算額 5,452千円

d 成果

(a) これまでの実績

会員相互の交流会やQC活動等の実施を通じて、企業間のコミュニケーションを深めたり、自己研鑽の場を提供している。また、地域貢献の取り組みとして、若手技術者や中高生が参加できるロボコンの開催の支援を行うなど、ものづくりの楽しさを学ぶ機会を市民に提供している。

(b) 今後の見通し

産業構造の変化や後継者難、人材難等に伴い、地域でも製造業の空洞化が進んでおり、今後は、新エネルギー等の成長が見込まれる分野へ産業構造の転換を図る必要がある。そのためには、津山圏域工業会が主体となり、技術革新や産業技術者の発掘や育成に取り組んでいく。

④ 中小企業経営安定事業

a 内容

市内の中小零細企業の経営安定のため、専門員による経営指導や融資

制度による資金繰りの支援を行う。

- b 実施主体 津山市、津山商工会議所、作州津山商工会
- c 事業規模 平成23年度中小企業融資事業予算額（津山市）
3, 137千円
平成23年度中小企業相談所事業予算額（津山商工会議所）
55, 866千円
平成23年度経営改善普及事業予算額（作州津山商工会）
87, 627千円

d 成果

(a) これまでの実績

平成22年度中小企業融資制度の融資件数及び融資額

109件：554, 250千円

平成22年度中小企業相談所事業の経営指導件数 4, 128件

平成22年度経営改善普及事業指導の経営指導件数 4, 344件

(b) 今後の見通し

円高、デフレ等の構造的な経済不況がつづくなかで、地元中小零細企業の経営安定と雇用安定を図るほか、事業主の高齢化や後継者難などの地元中小零細企業が抱える課題の解決や新規創業者の掘り起しや支援を強化していく。

⑤ 商業活性化事業

a 内容

郊外化の進展により、中心商業地域が衰退し、空き店舗が増えてシャッター通り化した中心商店街の再活性化を図るため、再開発により平成11年にオープンした複合商業ビル「アルネ・津山」を核として商店街の活性化イベントの実施や空き店舗への新規出店者の誘致を行う。

- b 実施主体 津山市、津山商工会議所、津山街づくり(株) (TMO)

- c 事業規模 平成23年度空き店舗対策補助事業予算額（津山市）
12, 750千円
平成23年度商店街活性化事業予算額（津山市、津山商工会議所、津山街づくり(株)） 4, 610千円

d 成果

(a) これまでの実績

平成22年度空き店舗対策補助事業の新規出店数 6件

地ビールフェスタやスイーツフェスタ、ガレージセール、定期市など

の地域密着型の独自色のあるイベントを開催しており、郊外の大型店舗とは差別化を図り、中心商店街の魅力の向上に努めている。

(b) 今後の見通し

平成21年4月に津山市中心市街地活性化協議会（事務局：津山商工会議所）が設立したことに伴い、本市は、中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の策定に着手し、現在、国の計画認定に向けて取り組んでいる。平成24年度中の認定を目指しており、認定後は国の支援措置を受けて、活性化に資するハード整備事業やソフト事業を実施していく予定である。

⑥ 観光キャンペーン事業

a 内容

「津山さくらまつり」、「津山だんじりまつり」、「城東街並み保存地区」など津山地域の観光資源を活かした観光イベントの実施や、観光協会等の民間団体と連携して全国に向けて津山のPRやキャンペーン事業を展開する。

b 実施主体 津山市、津山市観光協会

c 事業規模 平成23年予算額（津山市） 27,190千円

d 成果

(a) これまでの実績

B級ご当地グルメ「津山ホルモンうどん」がB-1グランプリで3年連続上位入賞したことで、津山の観光客数は増加基調にあり、「津山ホルモンうどん」の飲食店を紹介した「津山ホルモンうどんマップ」の作成や、津山ホルモンうどん研究会によるイベント出店を通じた津山のPR活動を行い、津山の知名度アップと誘客に繋がっている。

(b) 今後の見通し

平成25年度に、岡山県北地域で美作建国1300年記念事業を実施することとしており、B級ご当地グルメで全国的な知名度を得た津山市の「津山ホルモンうどん」、真庭市の「ひるぜん焼きそば」のほか、女子サッカーの「なでしこジャパン」の代表選手を擁する美作市の「湯郷ベル」など、各地域の話題性に富んだ観光資源を活用することで、誘客を促進し、津山圏域一円の観光ブランドの確立を目指す。

6. 計画期間

地域再生計画認定日～平成27年3月31日

7. 地域再生計画の目標の達成に係る評価に関する事項

雇用拡大メニュー及び人材育成メニューの受講者や就職促進メニューの相談者など利用するすべての求職者の求職から受講、就職までをデータにより一元管理することにより、雇用創出数を把握し、目標の達成状況を評価する。